

# 車社会がもたらす都市へ の影響とLRTの未来

1418081 松田 昇

# 研究背景

- 高度成長期以降、自動車を基盤とした街づくりが推進され日本は車社会となった。
- 特に地方では車がないと生活できない地域があるほど自動車に依存している。
- 車社会では環境や景観、渋滞や交通事故、無造作な都市の開発などさまざまな場所に影響が出ている。



車社会からの脱却が必要ではないか

# 目的

- 海外、特にヨーロッパではL R Tによる街づくりが進められている。
- そこで、日本、特に地方都市において、L R Tの導入により車社会を改善しコンパクトシティ化できないか、対策・検討し考察することを目的とする。

# 車社会による影響

- 騒音や排気ガスによる環境汚染
- 交通事故、交通渋滞
- コインパーキングの増殖
- シャッター街の増加
- 殺風景な町並み
- 路面電車の廃止、モータリゼーションの進展

…etc

# 現状

- ヨーロッパの諸都市では、自動車の保有や使用に対する規制が行われ、路面電車が最提供された
- 自動車大国であるアメリカも、LRTをはじめとする公共交通機関を充実させた都市がある
- 中国や、東南アジアでもLRTの普及が進んでいる
- 日本は自動車にとって都合の良い都市空間が守り続けられている
- 車社会からの脱却を課題とした都市政策が焦点になったことはほとんどない

# LRTとは

- Light Rail Transitの略、次世代路面電車
- 低床式車両の活用や、軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などに優れた軌道系交通システム
- 道路交通を補完し、人と環境にやさしい公共交通



- ストラスブール（フランス）

# LRTに期待されること

- 交通環境負荷の軽減
- 交通転換による交通円滑化
- 移動のバリアフリー化
- 公共交通ネットワークの充実
- 中心市街地の活性化
- 道路空間の再構築

…etc

# LRTのメリット・デメリット

## メリット

- 都心から郊外へ、長く伸びた路線により車社会で薄く広がった市街地に対応
- 駅までの長い徒歩やホームまでの階段の上り下りがなく街中で自由に乗り降りが可能

## デメリット



# 日本でLRTが普及しない理由

- 日本でLRTと呼ばれているのは富山ライトレールのみ（宇都宮でLRT導入に向けた取り組みがある）
- 海外では公共交通に独立採算が求められず、運営費にまで税金が投じられる
- 日本では初期投資には税金を投じても、運営は独立採算を求められる
- LRTは赤字事業のため運営費への税金投入が前提

# L R T の実例

# どうすれば日本でLRTが普及するか

- LRTの現状
- メリット・デメリット
- 導入事例
- 国の支援
- 課題
- 対策・検討

# 参考文献

- 国土交通省-LRTの導入支援  
[http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/lrt/lrt\\_index.html](http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/lrt/lrt_index.html)
- LRT-日本交通計画協会<http://www.jtpa.or.jp/contents/lrt/>